

# 山菜を栽培してみよう！

## ワラビ

### 【栽培適地】

- ・落ち葉が多い肥沃地で、半日陰で空中湿度が高いところを選ぶ。
- ・西側斜面は避ける。
- ・PHは5～5.5

### 【根茎の準備】

- ・種苗は根茎の繁殖旺盛な1～2年目の苗で細根が多く、白みを帯びているもの。

### 【植え付け】

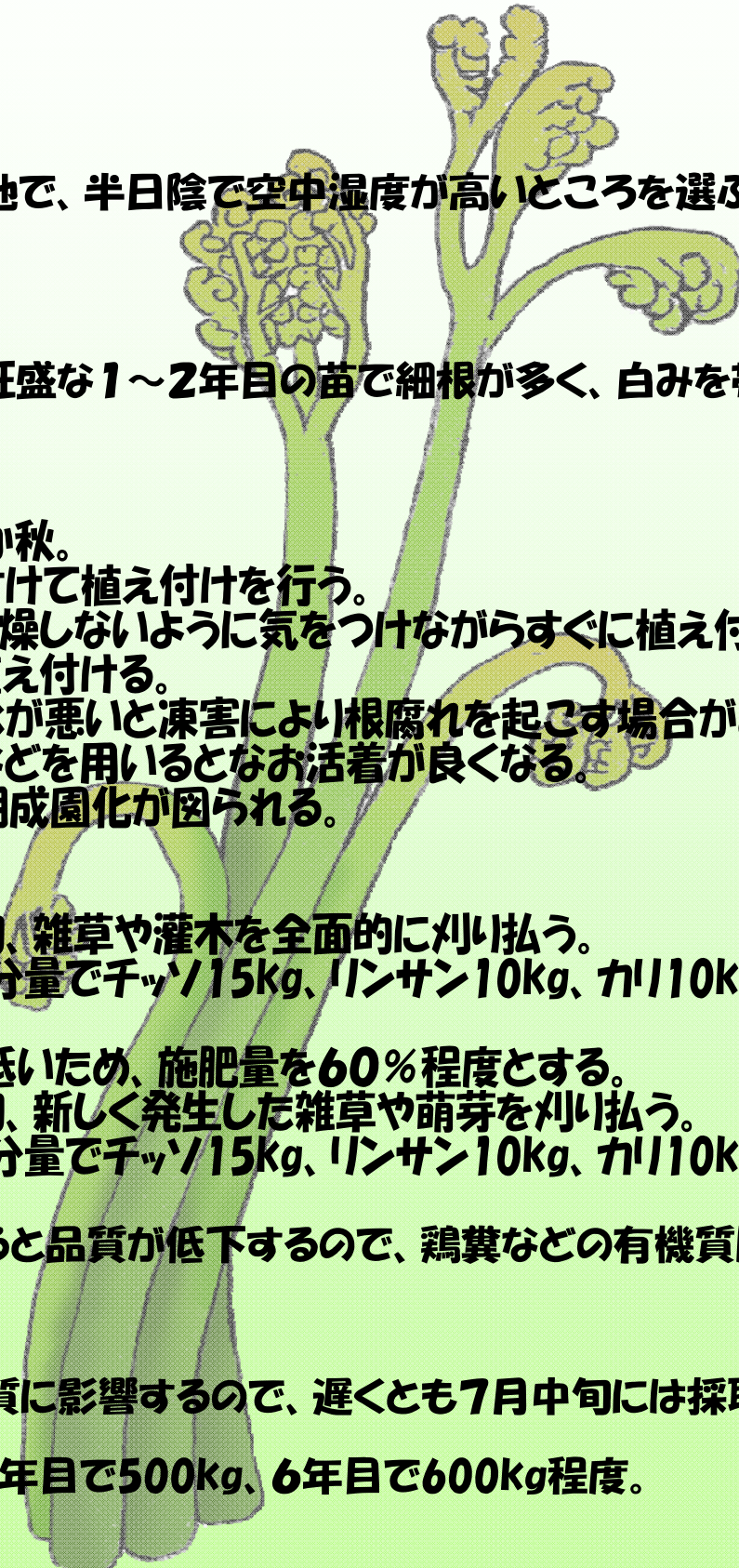
- ・植え付け時期は春か秋。
- ・1本苗で4芽以上付けて植え付けを行う。
- ・種苗は堀採り後、乾燥しないように気をつけながらすぐに植え付ける。
- ・深さ15cm程度で植え付ける。
- ・秋植えの場合、排水が悪いと凍害により根腐れを起こす場合がある。
- ・覆土にバーク堆肥などを用いるとなお活着が良くなる。
- ・密植で植えると早期成園化が図られる。

### 【管理】

- ・4月下旬～5月下旬、雑草や灌木を全面的に刈り払う。
- ・その後、10a当り分量でチッソ15kg、リンサン10kg、カリ10kgを標準とする。
- ・初年目は被覆率が低いいため、施肥量を60%程度とする。
- ・6月下旬～7月下旬、新しく発生した雑草や萌芽を刈り払う。
- ・その後、10a当り分量でチッソ15kg、リンサン10kg、カリ10kgを標準とする。
- ・化成肥料を連用すると品質が低下するので、鶏糞などの有機質肥料も施す。

### 【収穫】

- ・翌年の発生量と品質に影響するので、遅くとも7月中旬には採取をやめる。
- ・収穫量は10a当り4年目で500kg、6年目で600kg程度。





# ゼンマイ

## 【栽培適地】

- ・日陰度40～50%で、東向きないし東南向きのところを選ぶ。
- ・直射日光が当り、斜面が乾燥するところと地下水が停滞するところは避ける。
- ・PHは5～6

## 【根株の準備】

- ・自生する束生の株を1株ずつ移植させる。
- ・移植して3年目頃から根株繁殖が始まる。
- ・根株がコブシ大で50～60cmの裸葉又は芽が2～3本以上ついているものが良い。

## 【植え付け】

- ・植え付け時期は春か秋。
- ・苗は根を多く付けて掘り採り、乾かさないようにしてすぐに植え付ける。
- ・植え付けは、深植えにならないように注意する。  
(5～6cmの土をかけ踏みつける程度)

## 【管理】

- ・除草は植え付け後3ヶ年間程度6月と8月の年2回行う。
- ・枯れ葉は晩秋に刈り込む。
- ・植え付けた年は、施肥をしないで株の活着を促す。
- ・植え付けた翌年から鶏糞等の有機質肥料を4月(春)と10月(秋)の2回する(スギ林内は100～150kg/10a)

## 【収穫】

- ・植え付けてから3年目頃まで、収穫は行わず栽培管理を行い、草丈が1m以上になったら翌春から収穫を開始する。
- ・収穫量は10a当り5年目で400kg、10年目で1000kg程度。(生)
- ・乾燥歩止まりは10%。



## 行者ニンニク

### 【栽培適地】

- ・樹林内の肥沃な土壌と、湿気のある場所を選ぶ。
- ・PHは5.5程度。

### 【種子の採取】

- ・6年生以上の苗に花が咲くと7月上旬～下旬にかけて種子が採れる。
- ・種子を乾燥させないように注意して、流水に3日程度水漬けする。

### 【植え付け】

- ・植え付け時期は夏。
- ・水漬けした種子は播種するのが最も発芽が良い。
- ・植え付けは、深植えとし、冬場に霜柱で引き抜かれないようにする。

### 【管理】

- ・播種後は薄くワラを敷き、日陰で涼しいところに置く。
- ・発芽するまで乾燥させないように時々かん水する。
- ・3～4年生頃から畑に定着させる。
- ・植え付け間隔は10cm程度。

### 【収穫】

- ・5年生頃から採取できる。
- ・収穫すると次回収穫まで2～3年かかる。
- ・収穫量は10a当りで100～200kg。





# 千シマザサ(ネマガリタケ)

## 【栽培適地】

- ・土壌が深く、湿気が多い沢筋の山腹下部の場所を選ぶ。
- ・粘土質は不適。
- ・PHは5~6程度。

## 【根株の採取】

- ・1~2年生の若竹で地下茎の色が黄色で細根の多いものを選ぶ。
- ・親竹の全部と地下茎をつけて掘り採る。

## 【植え付け】

- ・植え付け時期は春(3月下旬)か晩秋。
- ・根株を採取したら乾燥しないよう、すぐに植え付ける。
- ・深植えにすると活着が悪いので、植え穴は深さ30cm、幅40cm程度の植え穴を掘る。
- ・植え穴に水を注ぎ、土をどろどろにし、地下茎と土が密着するように植える。
- ・植え付け方法は、斜め植えとしネマガリタケの性質に合わせて、自然の状態に植え込み、覆土後は根元を踏む。

## 【管理】

- ・植付けした翌年は、雪により根が浮き上がるので、根踏みを行う。
- ・刈払いは、タケノコ発生1週間くらい前と入梅後と9月上旬頃の3回行う。
- ・5年以上たった古竹は伐採し、新竹の発生を促進させる。
- ・植え付け年度の施肥は、親竹周辺1~2m程度の範囲に鶏糞を1本当り6~8kg全面散布する。
- ・養成期は10a当り成分量でチッソ10kg、リンサン5kg、カリ7kg程度を施す。
- ・収穫期は10a当り成分量でチッソ20kg、リンサン9kg、カリ13kg、ケイサン16kgとし、肥料は有機ペレット山菜専用(4-4-3、苦土2)、溶性磷肥、磷硝安加里、ケミカルなど。
- ・春は30~40%、夏30~40%、秋20~30%を施す。

## 【収穫】

- ・4年生頃から採取できる。
- ・収穫量は10a当り5年目で100kg、10年目で400kg。